

春夏秋冬



武蔵野会ニュース No.199 令和8年 1月15日

発行 社会福祉法人 武蔵野会

本部 東京都八王子市旭町12-4.201 TEL042(631)6341

<https://musashinokai.jp/>

新年のごあいさつ



泡絵の具の不思議な触感～アトリエの時間～ 東堀切くすのき園

トーク 戦争がない世界

年のはじめに、世界のニュースに胸が詰まることはありませんでした。ベネズエラの混乱や各地の紛争では、多くの罪のない人々の尊い命が奪われました。遠い出来事のようにいって、食料やエネルギーの価格や心の不安として、私たちの暮らしにも波及します。「戦争がない世界」は理想である一方、当たり前ではない現実を思い出させます。

けれど平和は、大きな言葉だけではありません。家に帰れること、安心して眠れること、困ったときに「助けて」と言えること、朝のあいさつが返ってくること、そうした小さな確かさが、足元の平和を形づくっています。

福祉の現場も同じです。気持ち落ち着かない方が、安心できる方の声でほっとされることがあります。「おいしいね」と笑い合える食卓が戻るだけで、争いではなく安心が心に残ります。平和は日々の関わりで育つ。私たちは、そう教えられます。

福祉を取り巻く環境も変化しています。高齢化、家族の形の変化、孤立の深まり。支援が必要になった時、頼れるつながりがあるかどうかで、不安の大きさは変わります。だからこそ私たちは、制度や立場よりも「目の前の一人」を真ん中に置き、声にならない思いに耳を澄ませ、居場所と安心を整えていきたいと思っています。

当法人も、地域の皆さま、ご家族、関係機関と歩調を合わせながら、暮らしの中の小さな平和を丁寧にとってまいります。私も学びを重ね、現場の声を届けていきます。違いを責めるのではなく、対話で確かめ合い、必要な支えを考える。戦争がない世界を願いながら、安心できる生活を支え合えるように、今年も一歩一歩広げてまいります。

社会福祉法人武蔵野会 理事長 山田 貴美



新年の挨拶

理事長 山田 貴美



新年あけましておめでとうございます。令和8年（2026

年）の幕開けにあたり、日頃より当法人の活動に温かなご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。昨年は、利用者の皆さま、ご家族、行政、地域の皆さま、そして職員の尽力に支えられ、日々の暮らしを共に支える歩みを重ねることが出来ました。福祉を取り巻く環境が変わる中でも、声にならない思いに耳を澄まし、安心と尊厳を守る支援を丁寧積み重ねてまいります。対話と連携を大切にし、困りごとに早めに気づける関係づくりにも努めます。職員が学び合い、より良い支援を届けられる環境も整えてまいります。本年も一歩一歩、皆さまとともに歩んでまいります。皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

後援会会長・評議員

市原 秀一



新春を寿ぎ、ご健勝を祈念申し上げます。会員と協力者の

の皆様には清々しい新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。日頃、心温まるご支援を賜り深く感謝申し上げます。昨年暮れには、第一回目の寄付金をいたしました。これらの支援が武蔵野会職員採用活動に寄与されています。これもひとえに会員と協力者の皆様の物心両面からの多大なご支援の賜物と存じます。ここに深く感謝を申し上げる次第です。世の中が不安定で先行きが不透明な社会状況ですが、武蔵野会の「隣人を愛する」という理念は後援会の活動の理念でもあります。本年も、新会員の獲得や一円玉、五円玉、ベルマーク、書き損じはがきの収集などに、一層のご支援をお願い申し上げます。多事多難の年明けですが、ご健勝に平穏な年になりますようお祈り申し上げます。

法人役員挨拶（順不同）

【理事】



高橋 信夫
（前理事長）



青木 秀雄
（明星大学名誉教授）



今坂 康志
（医師）



関哉 直人
（弁護士）



富山 孝行
（法人本部長）



宮原 康輔
（練馬福祉園施設長）



須永 正
（元社会福祉法人武蔵野会施設長）



鳥田 浩平
（社会福祉法人東京都社会福祉協議会副会長）



山崎 剛
（八王子モータース代表取締役社長・八王子北ロータリークラブ所属）



土居 幸仁
（認定NPO法人CES事務局長）

あけましておめでとうございます。本年度初めて評議員になりました。評議員としての活動をしっかりと努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

人は誰もが他人に助けられて生きています。迷惑を掛け合いようではなく、迷惑を掛け合い助け合える社会になりますように。

小澤 敦子
（元八王子市子ども家庭部長）

むさしの武蔵野

備えあれば

憂いなし

「72時間」。災害時の人命救助の報道でこの数字を耳にしたことがある方も多いと思います。これは人間が水なしで生きられる限界の時間だそうです。

昨年12月に開催された東武協知的発達障害部会災害対策委員会主催の学習会「過去の震災から学び、実践的な福祉避難所の運営を目指す」で、現役自衛官講師からこの72時間について、「自衛隊は地震や自然災害発生時から72時間は全力で人命救助に当たります。そのため被災者への物資の供給は出来ないで、それまでは自助、共助で生き延びられるよう、日頃から備えてください」と話がありました。

これまで「72時間の中で備蓄している公の物資の供給が始まるのだらう」と何となく考えていました。しかし、自衛隊が物資の供給体制を整え始めるのが72時間以降となると、これまでの考えを改めなければいけません。自助、共助だけで最低でも3日間（72時間）、4日目からそこに公助が加わる、

ということを改めて皆さんにも知っておいていただきたいと思います。

1995年1月7日の阪神淡路大震災から30年、2011年3月11日の東日本大震災から14年、2024年元旦の能登半島地震からも2年が過ぎました。政府地震調査研究推進本部の予測によれば、今後30年以内に東京で大地震が起こる確率は70%です。この数字は、「起こるかもしれない」ではなく「必ず起こる」、しかもそれが「今日かもしれないというレベルだ」ということです。私たちはどれだけ地震に備えることが出来るのでしょうか。

先日の学習会では実際の福祉避難所の様子を聞くことが出来ました。武蔵野会では震災を想定した総合防災訓練を1月に法人全体で実施します。地域や環境によって状況は違うので、全てを想定することは難しいですが、やれることから備えることで、見えない地震に脅えるのではなく、地震が起こることへの覚悟と自信が少しずつ育っていくと思います。「備えあれば憂いなし」に少しずつ近づけるようにしていきたいですね。

駒沢生活実習所

施設長 中川 穰



佐藤 宏
（八王子市心身障害者福祉センター所長）



岡部 智彦
（西水元あやめ園施設長）



野田 久美子
（世田谷福祉作業所施設長）



松田 京子
（元東京都社会福祉協議会福祉部長）



谷口 健吉
（税理士）

【監事】

微力ではございますが、これまで培われてきた法人の歩みを大切にし、皆さまと力を合わせて取り組んでまいりたいと考えております。宜しくお願いいたします。

【評議員】



井上 明子
（弁護士）



久保 健一郎
（東京慈恵会医科大学教授）



小林 隆猛
（東京都民生児童委員連合会会長）



原田 正樹
（日本福祉大学学長）



川松 亮
（明星大学教授）



國本 康浩
（一般社団法人フードバンク八王子代表理事）



世田谷区立世田谷福祉作業所
施設長 野田 久美子



世田谷区立烏山福祉作業所
施設長 野々村 武志



世田谷区立駒沢生活実習所
施設長 中川 穰



八王子生活実習所・リンクス桐田
施設長 林 清乃



大島恵の園
施設長 金子 陽介



北町福祉作業所
施設長 中神 昌



すぎな愛育園
施設長 山内 ゆきみ



さくら学園
施設長 小林 俊夫



練馬福祉園
施設長 宮原 康輔



練馬区立光が丘障害者地域生活支援センター
「すてっぷ」 施設長 山崎 一成



第2大島恵の園
施設長 外山 良裕



ジョブ・サポート・プラザちよだ
施設長 的場 康芳



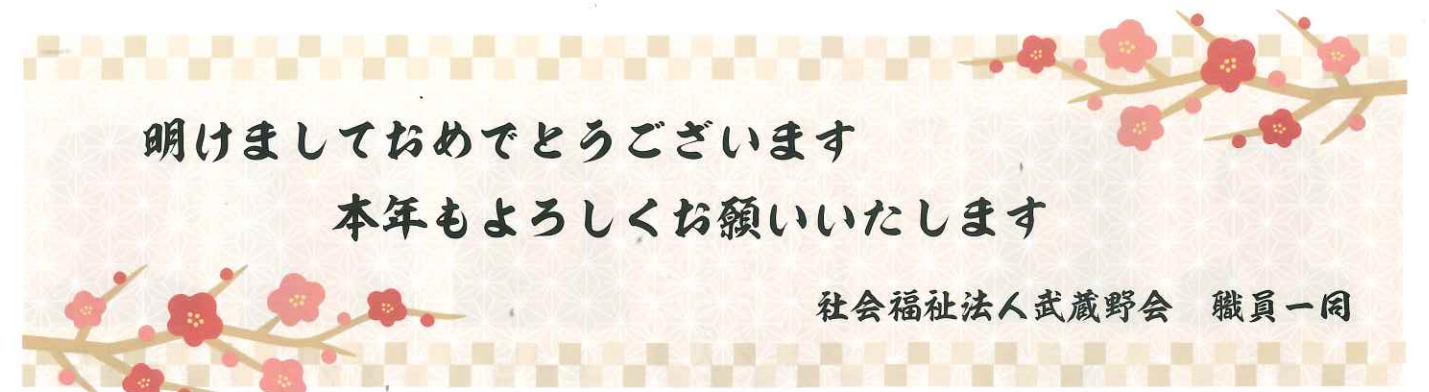
練馬区立光が丘福祉園
施設長 金澤 正義



リアン文京
統括施設長 野村 美奈



リアン文京
施設長 渡部 睦



八王子福祉作業所
施設長 木下 理恵



武蔵野児童学園
施設長 矢口 俊夫



千代田区立障害者福祉センター
「えみふる」 施設長 田部 季之



西水元あやめ園
施設長 岡部 智彦



八王子市心身障害者福祉センター
所長 佐藤 宏



きね川福祉作業所
施設長 本田 直記



練馬区立大泉町福祉園
施設長 大関 智



小平福祉園
施設長 多々良 康子



世田谷区立九品仏生活実習所
施設長 三浦 誠一



白鳥福祉館
施設長 横尾 泰朗



東堀切くすのき園
施設長 伊藤 久美子



希望の里
施設長 福田 信行

ニュースラウンジ

里フエスタ開催

希望の里

10月18日(土)に里フエスタを開催しました。久しぶりに地域(上川地区)の方々にもご来場いただきました。アトラクションは、日頃からMSスポーツ(月1回)でお世話になっている「集まれ愉快な音楽仲間たち」や、お近くの「川口中学校吹奏楽部」にお越しいただきました。集まれ愉快な仲間たちの演奏は、ゲームの要素を盛り込み、身体を動かしながら盛り上がりました。川口中学校の演奏では、昔懐かしい曲からMrs. GREEN APPLEのメドレー曲など心地よい音色を奏でていただき、多くの聴衆を魅了しました。模擬店は焼きそば、フランクフルト、唐揚げ&ポテト、豚汁、ワッフルなど、他6種あり豊富なメニューを出店いたしました。ゲームは昔ながらの射的コーナーをアレンジし、お菓子を小ぶりの的にして当てる企画で、なかなか当たらない反面、たくさん取

日帰り旅行

さくら学園

さくら学園では毎年春から秋にかけて日帰り旅行を実施しています。今年度は「より利用者の希望に沿った時間を」と考え従来の大人数での旅行ではなく、職員と利用者の2人で行く旅行から3〜5名程度の小グループによる旅行を企画しました。行き先の選定では、写真を見ながら「行きたい場所、見たい物、食べたい物」を丁寧に伺いました。動物園や水族館、温泉といった定番スポットに加え、今年は新たな要望も寄せられました。「入所前に通っていた施設の友達に会いたい」「お母さんに会いたい」「両親の墓参りに行きたい」といった利用者の再会の願いを叶えたいと思い、職員も準備を進めました。

近年は車椅子を利用される方も増えているため、移動ルートの確認や嚥下状態に合わせた食事の提供が可能ななど、事前の配慮は欠かせません。しかし、完成した「旅行のしおり」をうれしそうに眺める姿や、帰った後の「楽しかったよ」という笑顔に、私たちも大きな喜びを感じています。これからも「また旅行に行きたい」と元氣

られる方もいました。ボランティアの方々も家族ボランティアを含め19名にご参加、ご協力いただきました。利用者、職員、関係者などたくさんの笑顔があふれる楽しいお祭りが開催できました。



アトラクションの一幕

もりあわせFESTA 2025

世田谷福祉作業所

11月22日、気持ち良い青空の下、当施設主催の「もりあわせFESTA 2025」を開催しました。地域の皆さまを中心に1200名を超える方々にご来場いただき、会場は笑顔とにぎわいに包まれました。

会場は、模擬店やステージ、ゲームコーナーなど、楽しめる企画が盛りだくさん。なかでも模擬店や



大盛況のもりあわせFESTA 2025

チラシ配布など、利用者の皆さんがキャストとして大活躍しました。少し緊張しながらも、「いらっしやいませ」「ありがとうございませ」と一生懸命声をかけ、お客さまとやり取りをする姿が見られました。また、着ぐるみの登場や風船の配布、ステージの発表では、会場のあちこちから笑顔と拍手があふれ、お祭りを大いに盛り上げてくれました。

施設あれやこれや

武蔵野児童学園

12月21日に園内クリスマス会が開催され、子どもたちがダンスや歌唱、ピアノの発表をしてくれました。たくさんのご馳走とスライドショーで1年を振り返り、最後は職員サンタと子どもトナカイがお菓子を配りに来てくれて大盛り上がりでした。

さくら学園

毎年恒例の餅つきを開催。「よいしょー」の掛け声が響く中、時折杵が臼に当たってしまうハプニングもあり、会場は笑いに包まれ大盛り上がりでした。皆で楽しくついたお餅は鏡餅にして事務所に飾りました。

世田谷福祉作業所

地域の方々と共に育てる庭として「しあわせのみのりガーデン」がカフェの一角に誕生。ハーブやレモンなど様々な植物を育成中。ハーブを使ったワークショップも企画出来るかも！

すぎな愛育園

1月24日(土)に年長保育があります。通常療育後、特別な遊びをしたり、デニースへ行ったりして19時まで園で過ごす行事です。

に過ごしていただけるように支援をしてまいります。



今日も楽しい外出になりました



法人業務標準化

事業企画室

事業企画室を本部内に開設し、現在、各委員会が業務の標準化に

取り組んでいます。今年度の主な成果は次のとおりです。虐待防止委員会は虐待防止指針の見直しを進め、法人虐待防止セルフチェック(Web調査)を年2回実施しています。コンプライアンス委員会は規程改正とガイドブック改定・周知を行い、毎月の通信と啓発ポスターを配信しています。安全対策委員会はリスクマネジメント基本指針に基づき、緊急時初動連絡フローチャートと連絡体制を整備し、安全運転管理規程も見直しています。防災委員会はBCPを「誰でもわかる見える化」として刷新し、各事業所の暫定版(PowerPoint)を策定、通信も配信しています。感染症委員会は通所版BCPを作成・周知し、感染症マニュアルを見直すとともに、まん延防止の研修・訓練を年2回実施しています。研修委員会は理念研修を強化するためフレッドを作成し全職員へ配布しました。サービス向上委員会は個別支援計画の策定プロセスを整理し、フローとチェック項目を周知して標準化を図っています。今後も現場の声を大切にしながら、分かりやすく使いやすい仕組みに整えてまいります。引き続き丁寧に進めます。

東堀切くすのき園

利用者の作品を使った「くすのきARTカレンダー」。以前から大変好評で、2026年版は生産数を増やしました。葛飾区役所で行われた12月の自主生産品販売会でもほぼ完売。好評につき追加生産して販売中です。

駒沢生活実習所

鏡餅用のお餅を、昨年末に利用者の皆についてもらいました。もち米を蒸した良い香りと「よいしょーよいしょー」の掛け声で館内はもちつきモードに突入。皆のおかげで立派な鏡餅が出来ました。

大泉町福祉園

先日、近隣のセブンイレブンのご協力の下、疑似店舗をホールに出店しました。冷蔵の必要がない飲料やスナック、スイーツなど豊富な商品を目の前に、買い物体験を楽しみました。

九品仏生活実習所

11月に開催したお祭りでは、少しでも来所者を増やそうと、門扉の手前に綿あめの無料体験コーナーを設置しました。多くの方が笑顔で体験し、その後施設のお祭りへと向かってくれました。

お知らせコーナー

1月

20日(火) 新年会 (光が丘福祉園)
30日(金) 法人総合防災訓練

2月

1日(日) 大島地区家族会
3日(火) ハビひか防災～炊き出し訓練(光が丘福祉園)
20日(金) 八王子地区実践事例報告会
22日(日) 第38回心をつなぐ福祉マラソン大会(東社協)
25日(水) 千代田文京地区実践事例報告会

3月

2日(月) さくら学園実践事例報告会
6日(金) 世田谷地区実践事例報告会
19日(木) 辞令交付式

共同募金・大型遊具

すぎな愛育園

昨年10月、共同募金会の助成金を利用して、新たな大型遊具を園庭に設置しました。これまで使っていたすべり台は劣化が進み、幼児が遊ぶには高めの造りでもあったので安全面に不安がありました。以前に階段で足を滑らせ落ちそうになる子もいました。幸い大きな怪我に至らなかったものの職員はハラハラドキドキで見守る毎日でした。一方、新しい大型遊具は低めのすべり台を中心にベンチと小窓、カウンスターが付き幼児が遊ぶのに丁度いい大



きさです。お友達と並んでベンチに座ったり、カウンスターを使ってお店屋さんごっこをしたりと、子どもたちが安全に遊べる造りになっています。大型遊具に集まっても達郎の姿を見ることができ、子ども達も安心して遊ぶことができます。外で遊ぶのが大好きなさらさらの子ども達、お友達や大人と一緒に切り遊べるように、これからも安全で安心な環境を整えていきたいと思っています。



設置された大型遊具

ショーケース

自主生産品紹介
旬の商品

草木染一点物

玉ねぎ、どんぐり、桜、藍。
03・3604・0034
白鳥福祉館



手作りのマット

織物班では、糸を染色する工程から始め、利用者さんがショールやマットを織り上げます。着物などを活用した裂き織りも行い、バッグや小物などの多彩な作品を製作しています。イベント販売の時は、とても好評です。

織物班の活動

さくら学園

0550・89・0789



布製のマルチクロス

これ、何だと思いませんか。正解は白鳥福祉館の草木染の材料です。地域の桜やどんぐりを使用していることもあり大人気です。普段使いにも、ちょっとしたプレゼントにも最適です！

武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が経営する施設とグループホームの利用者のために、より良い環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを、物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により、会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していますので、ご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931

東京都八王子市台町1-19-3

電話・FAX 042-626-9772

当園の活動では、カラフルなメモ帳、ふせん、マグネットクリップなどを利用者個々のペースでこつこつと作製しています。地元の手芸ボランティアグループ「古布の会」の皆さんに協力いただいているユニークな手づくり雑貨も人気です。



行事や近隣施設で販売中！

手づくり文具・雑貨

を販売中

練馬区立光が丘福祉園

03・3976・5100